

第18回 校内研修で比嘉百恵先生が研究授業

「教育公務員特例法」に教育公務員である教員は、「その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない。」とあります。つまり、先生方は、その職務のために研修をすることが義務付けられているのです。校内でも「校内研修」と称し、テーマを設定して研究を行っています。テーマに添った研究だけでなく、その職能を高めるために研修も行っています。

11月13日（火）に実施した第18回校内研修で比嘉百恵先生が3年算数「1けたをかけるかけ算の筆算」の授業を全職員で参観し、その後、その授業についての授業研究会を行いました。子ども達の前学年での学習が身につけられるように年度初めから復習にも力を入れてレディネスをそろえ、子ども達が自信を持って主体的に問題の解決に取り組む姿や友達と協働して課題の解決に向かう様子など、習得した知識・技能を活用する授業展開に、「3年生のやる気と意欲が素晴らしい。」「話の聞き方や発表の仕方がすばらしかった。」という声が飛び交いました。日々の多忙な中でも、「わかる授業」の構築のため、先生方は、教材研究を重ね、授業改善に日々努力しているのです。

この日、3年生以外は、早めの下校で家庭での見守りをお願いし、ご協力いただいたことに、感謝申し上げます。



写真5 研究授業の様子①



写真6 研究授業の様子②



写真7 研究授業の様子③



写真8 研究授業を参観する先生方



写真9 研究授業の様子



写真10 指導主事から助言を受ける様子